



公益社団法人 栃木県看護協会

令和8年 夏

第127号

会員数 11,652人
(R8.7.31現在)

看護とちぎ



とちまるくん・常任理事・前会長・副会長・専務理事・かんごちゃん

CONTENTS

- 2 新会長就任あいさつ
- 3 2026(令和8)年度 公益社団法人栃木県看護協会通常総会
2026(令和8)年度 公益社団法人栃木県看護協会職能集会
2026(令和8)年度 理事会 一新役員の抱負
- 4・5 看護フェス2026
- 6・7 第40回栃木県看護大会受賞者 ～私の信念～
- 8・9 2026(令和8)年度 公益社団法人栃木県看護協会 役員・委員名簿
- 10・11 特集 今年の各委員会事業計画
- 12 令和8年度特定行為研修修了者及び認定看護師等活動推進事業
- 13 栃木県看護協会 訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所
- 14・15 ナースセンター通信
- 16 表彰おめでとうございます
会員特典
編集後記



特集

明治のナイチンゲールvol.4

2026年度前期連続テレビ小説「風、薫る」

主人公のモチーフの一人となった大関 和さん(おおぜき ちか 大田原出身)

生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 栃木県看護協会

<https://www.t-kango.or.jp>



公式SNSはこちら



公式LINE
開設しました～
お友達登録よろしく
お願いします

看護とちぎ
発行のお知らせも
届きます

看護とちぎはホームページにも掲載しています!! ぜひご活用ください。



新会長のあいさつ



公益社団法人栃木県看護協会 会長 **小松 富恵**

この度、栃木県看護協会会長に就任いたしました小松富恵と申します。どうぞよろしくお願いいたします。就任にあたり、ご挨拶させていただきます。

まず、栃木県看護協会の会員の皆さまにおかれましては、日頃より看護協会活動にご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

栃木県看護協会では、つぎの4つの基本理念を掲げ、活動しています。

- 1 人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え人々の健康な生活の実現に貢献する
- 2 看護職が働き続けられる環境づくりの推進
- 3 教育と研鑽に根差した専門性に基づき看護の質の向上を図る
- 4 地域の人々のニーズに応え社会貢献を図る

この理念を基盤として、看護職の専門性の向上と実践能力の強化、労働環境等の改善及び就業促進、地域ケアの推進、県民への健康づくり支援等、各種の活動を実践しています。看護協会の一つ一つの活動が意味あるものとして、県民の皆さまや専門職として看護職の皆さまのお役に立てるよう、会長としての役割を果たしてまいりたいと思います。

ところで、日本看護協会では昨年6月に「看護の将来ビジョン2040」を公表し、今後想定される社会、医療の変容を踏まえた取組を開始しました。当協会においても、令和8年度の重点政策として、1. 看護の専門性の向上と実践力の強化 2. 地域全体の健康・療養支援体制の構築 3. 看護職の働き方改革の推進 4. 県民の健康・福祉に貢献できる体制整備 5. 看護に係る普及啓発と組織強化の5点を掲げました。これらの政策の実現のために、さまざまな事業に取り組んでまいります。

現在NHK朝ドラで『風、薫る』が放映されています。このドラマは、大田原市（旧黒羽町）出身の大関和さんをモチーフにしたものです。ナイチンゲールの看護倫理をもとに「看護とは何か」を問い続ける場面があり、私たちの心にも響いてきます。これを契機に、広く県民の方々や若い世代の方たちに専門職である看護職に対する関心を持っていただけるよう、朝野前会長の在任時代から進めている普及啓発事業を継続して参ります。

なお、栃木県看護協会では、協会活動や看護に関する最新情報、研修案内、申し込み等々を協会ホームページに掲載していますので、ホームページを是非ご覧いただき、ご活用ください。さらに、最速に情報が得られるLINEやInstagramでの情報発信も始めましたので、登録をお願いいたします。

これからも会員の皆様や関係機関・団体の皆様と連携し、より活発な協会活動の運営に努力してまいります。つきましては、皆さまのご協力が不可欠となりますので、協会活動へのより一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

結びに、会員の皆さまのご多幸とご健勝を心から祈念し、会長就任のご挨拶とさせていただきます。

2026(令和8)年度 公益社団法人栃木県看護協会通常総会

6月27日(土)とちぎ健康の森 講堂において、2026(令和8)年度 公益社団法人栃木県看護協会通常総会が開催されました。開会にあたり、朝野春美会長から今年度の重要課題が述べられました。特に、ますます加速する少子超高齢社会において、後輩となる看護職や地元ナースをいかに確保し、育成していくかは大きな課題であり、今後取り組みを強化していく重要性が語られました。その後行わ



れた議事では、議長団の円滑な進行により提出議題はすべて決・承認されました。議事終了後は、新役員の紹介、旧役員への花束贈呈と謝辞が行われ、温かい拍手の中で閉会となりました。

なお、本総会は会員総数 11,616 名中、出席した会員数 9,987 名(本人出席 255 名、委任状出席 9,732 名)の意思表示により、適正に成立いたしましたことをご報告いたします。

2026(令和8)年度 公益社団法人栃木県看護協会職能集会

職能集会では 217 名の参加がありました。保健師職能委員会、助産師職能委員会、看護師職能委員会の各委員会報告および研修会報告が行われました。そのあとに行われた保健師助産師看護師 3 職能合同研修会では、日本看護協会前会長で現在は東京医療保健大学副学長の坂本すが先生を迎え、「人生 100 年時代 一人ひとりの看護職が生き生きと働くためには」と題したご講演をいただきました。先生は、コロナ禍を経て加速したデジタル変革や AI の普及、そして少子高齢化がピークを迎える「2040 年問題」を背景に、予測困難で正解が一つではない時代が到来していると話されました。こうした社会では、従来の「教育・仕事・引退」という 3 段階のライフコースから、生涯を通じた学び直しや多様な活動を並行するマルチステージへの転換が不可欠であるとも語りかけられました。また、自己肯定感を保ちながら業務の中に「ワクワクする瞬間」を見出すことが、生涯にわたって生き生きと働き続けるための原動力になるともエールを送られました。変化の激しい社会において、看護職自身が自律的に自らのキャリアを切り拓いていく重要性を再確認する、大変貴重な機会となりました。



2026(令和8)年度 理事会 — 新役員の抱負 —



理事

佐野厚生総合病院

吉田 登美恵

新任理事(地区支部長)として、会員、役員の皆様と看護協会の活動、発展に誠実に取り組んで参ります。

理事

足利赤十字病院

中山 千穂

新任理事として、皆様のご指導をいただきながら、責務を果たせるよう努めてまいります。

保健師職能理事

栃木県立衛生福祉大学校

金子 敬子

保健師の魅力を感じられる活動を皆様と一緒に考えて行きたいと思えます。よろしくお願いいたします。

理事

マロニエ医療福祉専門学校

今井 貴子

新任理事として、実習指導者講習会委員会のお役にたてるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

理事

獨協医科大学

日光医療センター

鈴木 佳世子

新理事として、皆様のご指導の下、「誠意」をもって責務を果たせるよう努めていきたいと思えます。

理事

芳賀赤十字病院

平石 慶美

看護職が誇りを持って、輝き続けられる環境づくりが重要だと日々感じています。微力ですが、頑張ります。

理事

とちぎメディカルセンター
法人本部

高岩 和枝

新任理事(栃木地区支部)として、地域の声を反映した活動ができるよう看護の質向上と連携強化に努めます。

理事

公益財団法人保健衛生事業団

萩原 英樹

外部理事としての役割をしっかりと果たせるよう取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



「看護の日」記念事業 TOCHIGI 看護フェス 2026

5月17日、ライトキューブ宇都宮において「看護フェス2026」が開催されました。

当日は多くの来場者にご参加いただき、保健師・助産師・看護師・フライングナース・災害支援ナースなど、それぞれの専門分野に関する展示や体験コーナーを通して、看護職の魅力や役割について広く発信することができました。

会場では、健康チェックや妊婦体験、訪問看護で使用するバッグの展示、災害支援活動の紹介など、多彩なプログラムが行われ、来場者の

皆様に看護職への理解を深めていただく機会となりました。また、キッズコーナーではナース服試着や塗り絵体験が行われ、子供から大人まで楽しめるイベントとなりました。

さらに、連続テレビ小説「風、薫る」トークショーも開催され、多くの来場者で賑わいました。

本イベントを通して、地域の皆様に看護職への関心を高めていただくとともに、看護の魅力や社会的役割を広く発信する貴重な機会となりました。



白衣体験



ふれあい看護体験発表



風、薫る



山形副会長・朝野前会長・毛塚副会長



NHK 宇都宮放送局
高石桃子キャスター



心にのこる看護エピソード 表彰式



かんごちゃんポーズ



大人気のとちまるくんとかんごちゃん



妊婦体験



白衣の歴史



かんごちゃんと助産師さん



かんごちゃんと保健師さん



かんごちゃんと災害看護委員のみなさん

フライトナース
ブースにて

ぬえりコーナー



災害看護ブースにて



多くの方にご来場いただきました



★特集★ 明治のナイチンゲール vol.4



おおぜき ちか
大関 和さん
NHKの2026年前期朝ドラ「風、薫る」主人公モチーフ

**に学ぶ
看護の原点**



時代の荒波の中で、大関和さんが一步一步、看護の知識と技術を吸収し、頼もしく成長していく姿。そのプロセスを追いながら、私はいつの間にか、物語に深く入り込んでいきました。

まだ「看護」という言葉すら新しかった時代。患者様のわずかな変化を見逃さない「観察力」を磨き、目の前の命に深く「寄り添うところ」を育んでいく姿は、まさに私たちが日々向き合う看護の原点そのものでした。

「そう、これが私たちの仕事なんだ」。

大関和さんの情熱に背中を押されるように、かつて看護を志した日の初心が鮮やかによみがえります。誰かの人生にそっと寄り添えるこの仕事への誇りをもう一度抱きしめて、明日からの看護へ向かう力を、深く、静かにもらいました。





第40回栃木県看護大会受賞者 ～私の信念～

所属施設は令和8年3月31日現在

知事表彰 受賞者

獨協医科大学病院
小松 富恵
目の前の対象者の方々にまっすぐ向き合い、その方々が持っている力を最大限に発揮できるよう支えることです。

とちぎメディカルセンター
総合保健医療支援センター
福田 裕美子
急性期から在宅までの経験を通し、地域に寄り添う看護を実践するとともに、看護師の多様な役割を伝えていきたい。

芳賀赤十字病院
三橋 明美
「報恩感謝」多くの人に支えられ今がある。感謝を忘れず支え合う力を信じ、目の前の人に向き合い続けたい。

佐野厚生総合病院
向田 千津
看護は「人を想う力」だと思っています。「感じる」こと、「考える」ことを大事にしています。



在宅助産師
吉成 律子

「誠実な心」自分にも他者にも正直であること、物事に真摯に向き合い、思いやりを持って行動する。

大会長表彰 受賞者



済生会宇都宮病院
川田 徳子
対象者の心理・身体・生活環境を総合的に捉え、最善をともに考え支援します。これが私の信念としています。

矢板健康福祉センター
齋藤 保子
多くの方々に支えられて成長できたことに感謝しています。常に笑顔と感謝の気持ちを忘れず、人々に寄り添っていきたいと思います。

御殿山病院
高橋 久美
優しさは強さ。相手を思い、受け止め、支える看護を目指し、寄り添う姿勢を大切にしています。

上都賀総合病院
中留 裕子
患者の気持ちに寄り添い最善の看護が提供できるよう、感謝の気持ちを忘れず日々精進することです。

とちぎ訪問看護ステーションたかねざわ
濱本 明代
常に前向き「七転び八起き」そして、支えてくれた全ての人々に感謝を忘れずこれからも進んでいきたい。

自治医科大学
附属病院
弘田 智香
様々な経験を通じて自分自身を成長させることが、よい看護を提供することに繋がっていると思います。

栃木県立衛生福祉
高等学校
泉谷 直美
多くの人の教えと支えがあって今があります。そのご恩を誰かにお返しできる自分でありたいと願っています。

済生会宇都宮病院
岡本 順子
多くの方々に支えられ今があります。出合いを大切に、感謝の気持ちを言葉で伝えることを心がけています。

足利市役所
小倉 優子
この賞を励みに、身近な機関として住民に寄り添い、時代に合わせた伴走型の予防活動を展開していきます。

とちぎメディカルセンター
しもつが
落合 紀代美
周囲の人に支えられていることを忘れず、仕事は楽しくそして柔軟に今後も取り組んでいきたいと思っています。

獨協医科大学病院
岸田 さな江
『継続は力なり』支えと教えのご縁に感謝し、これからも希望の看護と笑顔を皆と一緒に紡ぎ続けます。

那須赤十字病院
白井 愛海
栄誉ある賞に、身の引き締まる思いです。認知症の方の権利と尊厳が守られるべく、今後も精進して参ります。

新小山市民病院
田熊 明子
感謝の気持ちを忘れずに相手の立場になる。

栃木県立衛生福祉
高等学校
芳賀 篤子
共に働く仲間への感謝を忘れず、丁寧な姿勢で日々の仕事に向き合い、自分の役割を誠実に果たしていくこと。

芳賀赤十字病院
廣澤 真由美
多くの人に支えられてきたお陰で今があることに深く感謝し、笑顔で安心を届けていくことを心がけています。

宇都宮市役所
深谷 明子
声のかかった仕事、興味を持ったことは「やってみる」というのが私の信念(思い)です。



足利赤十字病院
舟木 純子

患者、患者家族、そして上司や同僚との出会いに感謝しての対話を心がけています。

栃木県立衛生福祉
大学校
本牧 純子

学生と学び合う日々感謝し、人に寄り添う看護をこれからも次世代へつなぎます。

国際医療福祉大学
松本 明美

高齢者看護 30 年の私の信念は、相手の心の声に耳を傾け、多様な価値観を尊重し、その思いを真摯に考えること。

自治医科大学
附属病院
茂呂 悦子

信念というほどではありませんが看護の対象となる人々の力を支え、高めることを大切にしています。

栃木県立がんセンター
山口 律子

誰かの安心した笑顔が私の原動力。その笑顔を支え続ける看護を大切にしていきたいです。

足利赤十字病院
古澤 由紀

多くの人の支えにより今があると感謝です。患者・家族の思いを大切に向き合っていきたいと思います。

獨協医科大学病院
松浦 美和

皆様のご支援に深甚なる感謝を捧げ、今後も専門性を高め良質な看護の実践に励んでまいりたいと思います。

那須中央病院
森 あかね

パーソン・センタード・ケアに基づき、相手を尊重しその人の視点や立場に立って考える看護を行っていく。

小山市役所
山縣 千開

初心を忘れず、感謝を大切にすることです。今の私があるのは、皆さまのおかげと改めて実感しています。

大野医院
大野 みな子

『安心・安全・満足な出産・育児』『女性の健康』の伴走者となり、ともに考え、尊重する姿勢を忘れない。

感謝状 受賞者



芳賀赤十字病院
木村 恵利子

自分がいる場所で自分の出来ることを一生懸命やる。出来ない事は助けてもらいながら学んでいく。

介護老人保健施設
ひまわり荘
鈴木 和子

患者・利用者に寄り添い、その人らしく過ごすことを援助する。笑顔忘れず、丁寧に対応する事を心がけています。

真岡病院
仙波 測子

常に笑顔忘れず、何事も前向きに。人との繋がりをこれからも大切にしていきたいと思っています。

上都賀総合病院
長岡 悦子

病だけでなく、その人自身を見ることを大切に、傾聴と感謝を忘れずに看護人生を過ごしていきたいです。

栃木県立がんセンター
廣瀬 美加

患者の思いに寄り添い、看護師として誠意をもって行動する。日々の感謝と職場環境を大切にしたい。

国際医療福祉大学
塩谷看護専門学校
八木澤 妙子

好きな仕事を続けられる今に感謝。学生達の成長を信じて、夢の実現のために支えていきたいと思っています。

特別養護老人ホーム
おおたわら風花苑
矢野目由香利

日々入居者様と向き合い、その方がよりよい生活を送れるような看護を提供していきたいと思っています。

佐野厚生総合病院
飯塚 真弓

私の信念は相手の立場に立ち、患者に寄り添い、誠実に安全と安心を届ける看護を行うことです。

栃木県立がんセンター
池田 由美子

周囲への感謝を忘れずに生きる。

国際医療福祉大学
塩谷看護専門学校
出井 美恵子

「白衣は魔法をかけない」白衣を着れば立派な看護師になれるわけではない。日頃からの生活が大切である。

とちぎメディカルセンター
しもつが
大島 利恵

多くの方に支えられた日々感謝し、人を支え「人とのつながり」を大切にしていきたいと思っています。

自治医科大学
附属病院
佐藤 清江

患者さんやスタッフとの出会いでの学びを大切に、これからも感謝の気持ちを忘れずに看護を続けていきたい。

佐野厚生総合病院
須永 淳子

私の信念：自分に偽らず、自分の感性を信じ、真摯に看護に向き合う

栃木市役所
田名網 明子

人、仲間、地域との繋がりを大切にしながら広い視野と柔軟性を持てるよう心がけていきたいです。

介護老人保健施設
わたのみ荘
中里 直美

患者・家族の想いを尊重し、本人らしい療養生活、終末をむかえられるような看護を提供していきたい。

自治医科大学
附属病院
松沼 早苗

周りの方々に支えられて今の自分があることに感謝し、「相手に誠実」であり続けることを心がけています。

芳賀赤十字病院
谷島 充子

患者様の苦痛や不安が軽減することで、笑顔が取り戻せるよう、患者、家族に寄り添える看護を心掛けています。

とちぎ訪問看護ステーション
うつのみや
吉岡 志津

在宅看護に携わってきました。その人らしく過ごせるように、思いに寄り添う看護を大切にしています。



2026(令和8)年度 公益社団法人栃木県看護協会 役員・委員名簿

役員

役職名	氏名	施設名
会長	小松 富恵	公益社団法人栃木県看護協会
副会長	山形 文子	上都賀総合病院
副会長	毛塚 裕子	栃木市役所
専務理事	五月 女祐子	公益社団法人栃木県看護協会
常任理事	亀田 美智子	公益社団法人栃木県看護協会
保健師職能理事	金子 敬子	栃木県立衛生福祉大学校
助産師職能理事	田中 純	自治医科大学附属病院
看護師職能理事	乾 寛美	獨協医科大学病院
理事	青木 千江美	新小山市民病院
//	岡崎 京子	那須南病院
//	反保 広美	済生会宇都宮病院
//	藤澤 千栄美	国際医療福祉大学那須医療センター
//	田口 明希子	栃木県医師会塩原温泉病院
//	鈴木 佳世子	獨協医科大学日光医療センター
//	平石 慶美	芳賀赤十字病院
//	高岩 和枝	とちぎメディカルセンター 法人本部
//	吉田 登美恵	佐野厚生総合病院
//	中山 千穂	足利赤十字病院
//	今井 貴子	マロニエ医療福祉専門学校
//	黒古 敬子	真岡病院
//	萩原 英樹	公益財団法人栃木県保健衛生事業団
監事	藤井 貴美子	栃木県立がんセンター
//	佐藤 達也	佐藤達也税理士事務所

推薦委員会

役職名	氏名	施設名
委員長	八木 沢幸恵	国際医療福祉大学塩谷病院
委員	板橋 ナオミ	佐野厚生総合病院
委員	青柳 恵子	獨協医科大学病院
委員	安西 典子	自治医科大学附属病院
委員	梅山 典子	栃木県立衛生福祉大学校
委員	関口 律子	小山市役所
委員	高山 幸子	済生会宇都宮病院

地区支部長

地区名	氏名	施設名
宇都	宮 反保 広美	済生会宇都宮病院
県西	鈴木 佳世子	獨協医科大学日光医療センター
県東	平石 慶美	芳賀赤十字病院
栃木	高岩 和枝	とちぎメディカルセンター法人本部
小山市	青木 千江美	新小山市民病院
県北	藤澤 千栄美	国際医療福祉大学那須医療センター
安	吉田 登美恵	佐野厚生総合病院

職能委員会

役 職 名		氏 名	施設名
保 健 師 職 能 委 員 会	委 員 長	金 子 敬 子	栃木県立衛生福祉大学校
	委 員	高 橋 由 紀 子	栃木産業保健総合支援センター
	委 員	戸 村 美 佳	日光市役所
	委 員	渡 邊 典 子	矢板健康福祉センター
	委 員	外 丸 陽 子	宇都宮市役所
	委 員	半 澤 美 郷	安足健康福祉センター
	委 員	村 上 浩 美	県東健康福祉センター
	委 員	阿 久 津 緑	県北健康福祉センター
	委 員	高 橋 輝 美	足利市役所
	委 員	武 田 梨 江	壬生町役場

	役 職 名	氏 名	施設名
助産師 職能 委員会	委 員 長	田 中 純	自治医科大学附属病院
	委 員	松 本 祥 子	済生会宇都宮病院
	委 員	田 中 和 代	佐野厚生総合病院
	委 員	竹 内 彩 子	国際医療福祉大学那須医療センター
	委 員	根 本 美 帆 子	那須赤十字病院
	委 員	山 市 敏 江	新小山市民病院
	委 員	生 田 目 ル ミ	獨協医科大学病院
	委 員	行 武 沙 織	芳賀赤十字病院
看護師 職能 委員会	委 員 長	乾 寛 美	獨協医科大学病院
	委 員	岡 本 順 子	済生会宇都宮病院
	委 員	浦 田 朋 美	栃木県立がんセンター
	委 員	大根田さゆり	老人保健施設わたのみ荘
	委 員	木 下 明 美	訪問看護あかり
	委 員	上 ノ 内 祐 貴	佐野厚生総合病院
	委 員	石 澤 薫	獨協医科大学日光医療センター
	委 員	石 母 田 恵 美	独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院附属訪問看護ステーション
	委 員	三 村 久 美 子	芳賀赤十字病院
	委 員	岩 佐 愛 子	足利赤十字病院
	委 員	上 條 朝 陽	自治医科大学附属病院
	委 員	重 信 純 子	とちぎ訪問看護ステーションいまいち
	委 員	前 田 千 嘉 子	老人保健施設 同仁苑
	委 員	吉 田 理 恵	国際医療福祉大学那須医療センター

常任委員会

役 職 名		氏 名	施設名
社会経済福祉委員会	担 当 理 事	岡 崎 京 子	那須南病院
	委 員 長	古 澤 由 紀	足利赤十字病院
	委 員	阿武隈川寛子	済生会宇都宮病院
	委 員	岸 田 さ な 江	獨協医科大学病院
	委 員	小松原千香子	とちぎメディカルセンターしもつが
	委 員	沼 尾 ゆ か り	獨協医科大学日光医療センター
	委 員	石 塚 三 奈 子	烏山健康福祉センター
教 育 委 員 会	担 当 理 事	亀 田 美 智 子	公益社団法人栃木県看護協会
	委 員 長	福 田 恭 子	獨協医科大学日光医療センター
	委 員	落 合 香 織	新小山市民病院
	委 員	埴 晶 子	上都賀総合病院
	委 員	上 野 恵 美	獨協医科大学病院
	委 員	川 上 美 穂	西方病院
	委 員	狐 塚 正 子	自治医科大学附属病院
	委 員	真 岡 麻 奈 美	真岡病院
	委 員	落 合 紀 代 美	とちぎメディカルセンターしもつが
	委 員	手 塚 幸 恵	済生会宇都宮病院
	委 員	成 田 い づ み	国際医療福祉大学那須医療センター
	委 員	片 根 明 子	県南健康福祉センター
委 員	河 野 か お り	獨協医科大学看護学部	



	役 職 名	氏 名	施設名
広報委員会	担当理事	山 形 文 子	上都賀総合病院
	委員長	渡 辺 義 隆	栃木県立岡本台病院
	委員	高 橋 真 弓	獨協医科大学日光医療センター
	委員	長 谷 部 明 子	芳賀赤十字病院
	委員	野 原 恵	県西健康福祉センター
	委員	村 井 亜 矢	とちぎメディカルセンターとちのき
	委員	池 澤 匡 美	済生会宇都宮病院
	委員	久 保 の り 子	獨協医科大学病院
災害看護委員会	担当理事	中 山 千 穂	足利赤十字病院
	委員長	豊 田 豊 子	那須赤十字病院
	委員	佐 藤 晃 子	獨協医科大学病院
	委員	手 塚 理 伊 子	済生会宇都宮病院
	委員	松 田 初 江	芳賀赤十字病院
	委員	神 山 淳 子	自治医科大学附属病院
	委員	亀 山 文 子	佐野厚生総合病院
	委員	福 田 佳 高	獨協医科大学日光医療センター
医療安全対策推進委員会	担当理事	田 口 明 希 子	栃木県医師会塩原温泉病院
	委員長	河 野 由 江	獨協医科大学病院
	委員	小 室 絵 美	上都賀総合病院
	委員	小 畑 美 加 子	自治医科大学附属病院
	委員	高 川 真 紀	済生会宇都宮病院
	委員	初 谷 留 里 子	足利赤十字病院
	委員	松 井 喜 美 代	新小山市民病院

特別委員会

役 職 名		氏 名	施設名
認定看護管理者教育運営委員会	担 当 理 事	亀 田 美 智 子	公益社団法人栃木県看護協会
	委 員 長	渡 邊 信 代	那須赤十字病院
	委 員	塚 本 友 栄	自治医科大学看護学部
	委 員	直 井 み つ え	済生会宇都宮病院
	委 員	茂 呂 悦 子	自治医科大学附属病院
	委 員	新 見 美 江 子	獨協医科大学病院
	委 員	福 田 裕 美 子	とちぎメディカルセンター総合保健医療支援センター
	専 任 教 員	酒 巻 佐 和 子	公益社団法人栃木県看護協会
	専 任 教 員	野 本 伊 江 子	公益社団法人栃木県看護協会
訪問看護教育委員会	担 当 理 事	亀 田 美 智 子	公益社団法人栃木県看護協会
	委 員 長	柴 り か	LC訪問看護リハビリステーション
	委 員	浅 野 有 美 子	獨協医科大学病院
	委 員	栗 原 洋 子	小山市役所
	委 員	磯 麻 衣	とちぎ訪問看護ステーションくろばね
	委 員	上 野 和 沙	栃木県保健福祉部感染症・疾病対策課難病対策担当
	委 員	馬 場 明 美	訪問看護ステーション虹
	委 員	小 泉 未 央	なないろ在宅ケアステーション

	役 職 名	氏 名	施設名
実習指導者講習会委員会	担 当 理 事	今 井 貴 子	マロニエ医療福祉専門学校
	委 員 長	豊 田 早 苗	獨協医科大学病院
	委 員	川 野 邊 祝	栃木県立衛生福祉大学校
	委 員	鈴 木 寛 子	芳賀赤十字病院
	委 員	手 塚 芳 美	自治医科大学附属病院
	委 員	長 島 明 子	国際医療福祉大学塩谷病院
看護大会準備委員会	委 員 長	毛 塚 裕 子	栃木市役所
	委 員	小 松 富 恵	公益社団法人栃木県看護協会
	委 員	山 形 文 子	上都賀総合病院
	委 員	五 月 女 祐 子	公益社団法人栃木県看護協会
	委 員	亀 田 美 智 子	公益社団法人栃木県看護協会
	委 員	金 子 敬 子	栃木県立衛生福祉大学校
	委 員	田 中 純	自治医科大学附属病院
	委 員	乾 寛 美	獨協医科大学病院
	委 員	西 巻 孝 史	日精看栃木県支部（氏家病院）
	委 員	櫻 井 啓 美	栃木県助産師会
	委 員	金 子 千 恵	栃木県立衛生福祉大学校
	委 員	金 山 陽 子	今市病院
	委 員	夢 沼 誠 子	栃木県立岡本台病院
	委 員	羽 石 麻 衣 子	佐野市民病院
新人看護職員応援研修委員会	担 当 理 事	亀 田 美 智 子	公益社団法人栃木県看護協会
	委 員 長	高 橋 り か	藤井脳神経外科病院
	委 員	舘 野 雅 子	佐野厚生総合病院
	委 員	岡 田 敦 子	芳賀赤十字病院
	委 員	小 島 明 美	とちぎメディカルセンターとちのき
	委 員	田 村 恵 理 子	自治医科大学附属病院
	委 員	熊 谷 美 香 子	宇都宮記念病院
栃木看護学会企画委員会	担 当 理 事	亀 田 美 智 子	公益社団法人栃木県看護協会
	委 員 長	角 川 志 穂	自治医科大学看護学部
	委 員	相 場 雅 代	自治医科大学附属病院
	委 員	齋 藤 英 子	済生会宇都宮病院
	委 員	小 山 喜 代 美	獨協医科大学F・D・S Dセンター
	委 員	石 川 純 子	獨協医科大学看護学部
	委 員	前 原 史 枝	国際ティビシィ小山看護専門学校
〔栃木看護学会準備委員会〕	委 員 長	田 熊 明 子	新小山市民病院
	委 員	山 口 英 子	足利赤十字病院
	委 員	飯 塚 順 子	とちぎメディカルセンターしもつが
	委 員	杉 田 富 美 子	上都賀総合病院
	委 員	田 村 千 賀 子	済生会宇都宮病院
	委 員	二 見 亜 紀	国際医療福祉大学塩谷看護専門学校
	委 員	横 田 由 紀	栃木県立リハビリテーションセンター



特集

今年の名委

職能委員会活動計画

保健師職能委員会

保健師の役割発揮に向けて

保健師職能委員長 金子 敬子

保健師を取り巻く状況が変化する中、行政や産業、医療機関、教育機関などそれぞれのフィールドにおいて、保健師が自らの活動に魅力ややりがいを感じ、果たすべき役割を遂行するとともに、日々の活動をとおして成長して行くことができるよう、保健師職能委員会では、人材育成に関する研修や保健師間の情報共有などに取り組んでいきます。

このため、研修会では、経験から学ぶ力を育むことをテーマとして、互いに育ち合う環境づくりなどについて理解を深める内容を企画しています。

また、ニュースレター発行による情報発信、保健師関係団体との交流による情報交換や共に取り組む活動についての検討なども進めて参ります。

会員の皆様と力をあわせて活動を展開して参りますので、御協力の程よろしくお願いいたします。

助産師職能委員会

助産師の活躍を広げ、
母子と家族によりそう支援へ

助産師職能委員長 田中 純

少子化や妊産婦の高齢化が進む現代において、妊娠前から産後、そして女性の生涯にわたる健康を支える助産師の役割はますます重要になっています。妊娠・出産・育児を取り巻く状況が多様化するなかで、助産師が専門性を発揮し、母子と家族が安心して支援を受けられる環境づくりを進めていきます。そのために、現場で求められる知識や技術を継続的に磨ける研修を充実させていきます。母乳育児支援、産後ケア、プレコンセプションケアなど、日々のケアに直結するテーマを中心に、実践に役立つ内容を計画的に整え、学びの質を高めていきます。また、「助産師のつぶやき」や「ミッドワイフトーク」、こうのと里ネットワークなどを通して、施設をこえて助産師同士が気軽につながり合える場を育み、情報交換や交流を深めていきます。助産師職能委員会として、会員の皆さまと課題を分かち合いながら、母子保健のさらなる充実をめざし、助産師がいきいきと力を発揮できる環境づくりに取り組んでまいります。

看護師職能委員会

専門性と自律性を高め、
地域とつながる看護の実現に向けて

看護師職能委員長 乾 寛美

2040年を見据え、複雑化・多様化する医療・介護ニーズに応えるためには、看護職一人ひとりが専門性と自律性を高めるとともに、病院と地域、多職種との連携をさらに発展させることが重要です。看護師職能委員会では、今年度、「DXを活用した看護の実現」「病院と地域をつなぐ看護師の役割」「高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるための支援」を重点テーマとして活動を進めてまいります。研修会では、地域包括ケアシステムにおける看護職の役割を改めて考え、デジタル技術の活用による業務改善や、多職種・地域との連携の実践について学ぶ機会を設けます。また、講義やグループワークを通して、それぞれの施設や立場で課題や工夫を共有し、実践につながる意見交換を行うことで、地域包括ケアの推進に向けた新たな視点や課題解決の糸口を見いだせる場を提供してまいります。委員会活動を通して、会員の皆様とともに学びを深め、これからの看護の発展と地域に根ざした質の高い看護の実現に向け、力を合わせて取り組んでまいります。

広報委員会

読み手に伝わる「看護とちぎ」
を目指して

広報委員会委員長 渡辺 義隆

広報委員会では、年4回発行している広報誌「看護とちぎ」の企画・校正・取材・編集を担当しています。栃木県看護協会の事業報告や計画、健康維持・増進に役立つ情報を会員の皆様や地域住民の方々へ発信し、掲載内容は、看護大会・通常総会、各委員会や地区支部の活動報告、研修受講者の声、看護の日記念行事、ふれあい看護体験、ナースセンター通信など多岐にわたります。NHK連続テレビ小説「風薫る」の大関和コーナーや、「私の職場のすきなところ」など、新企画にも取り組んでいます。今後は、より多くの皆さまに情報をお届けするため、紙媒体中心の発行からデジタル版へ段階的な移行を検討しています。デジタル化により、スマートフォン等からいつでも閲覧でき、過去記事の検索や共有もしやすくなるなど利便性が大きく向上します。より身近に感じていただける広報誌を目指してまいりますので、執筆依頼の際には、皆さまのお力添えをよろしくお願いいたします。



員会事業計画

常任委員会活動計画

社会経済福祉委員会

いきいきと働き続けるための職場 環境づくりと看護協会会員定着

社会経済福祉委員長 古澤 由紀

社会経済福祉委員会は、看護師の労働条件の充実・向上と看護協会会員定着の活動をしています。看護師のニーズが増大する中、働き続けられる環境づくりは必須です。今年度も二つの研修会を企画しました。まず、管理者対象の「スタッフがあこがれる魅力ある管理者で居続けるためには」、看護管理者の質の向上、研修後に施設内で戦略的な関わりにつなげ、就業継続が可能な環境づくりができることを目的としています。次に、3年目以上を対象の「続けたいと思える看護がここにある」では、看護職のウェルビーイングを考え、職場環境・人間関係などに個人が気づき組織とともに成長することを目的としています。一緒に魅力ある職場環境を構築していきましょう。

会員拡大・定着では、協会の役割や会員特典のPRにも取り組み活動していきたいと思います。よろしくお願いします。

教育委員会

看護職の専門性を高めるための 「まなび」を支援する

教育委員長 福田 恭子

教育委員会では、保健・医療・福祉におけるニーズの多様化・複雑化に対応し、質の高い看護が提供できる看護職の育成を目指し、研修の企画・運営をしています。あらゆる環境下で働く看護職がJNAラダーの指標と自身の習熟段階を対比させ、専門性を高めるための「まなび」に必要とされる研修が選択できるよう、みなさまの貴重なご意見を大切にしながら毎年ブラッシュアップしています。今年度は、今、看護職に求められているテーマに関わる新たな研修を企画しました。また、オンラインやサテライト形式を活用し、より研修に参加しやすい学習環境を提供と、一部の研修ではe-ラーニングによる事前学習を導入し学習効果を図っています。

今後も実りある研修が開催できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

災害看護委員会

「災害支援ナース」として 被災地の力に！

災害看護委員長 豊田 豊子

災害支援ナースは、日本各地で発生する地震や台風などの大規模自然災害や、新興感染症の発生・蔓延時に被災した方々の健康を守り、被災した看護職の支援を行なうために派遣される看護職です。2024年4月からは法令等に基づく仕組みとして整備され、厚生労働省、日本看護協会、都道府県看護協会が連携して派遣・研修の体制を構築しています。研修は、先ずオンデマンドでの事前学習を行い、その後集合研修で実際に支援を経験した看護職の講話やグループディスカッションを通じて、現場で必要とされる対応力やチーム連携を養います。研修終了者は国の登録名簿に登録され、必要な場面での的確に派遣されます。災害対応のさまざまなフェーズでの看護の力が求められます。委員会として、支援ナースの皆様が安心して業務遂行できるよう備品整備や支援体制を整えていきます。本県から多くの災害支援ナースが育つことを期待しています。

医療安全対策推進委員会

安全文化を育む 学びと実践を目指して

医療安全対策推進委員長 河野 由江

医療安全推進委員会は、患者さんと看護職の安心・安全を支える医療環境づくりに取り組んでいます。医療現場では、患者・家族への対応、職員へのハラスメント、身体拘束に関する倫理的課題など、医療安全を取り巻く課題が多様化しています。また、日常業務の中で実践する5S活動も、安全な医療を支える重要な取り組みです。

今年度は、「患者・家族・職員からのハラスメントへの対応」「みんなで取り組む新5S活動のすすめ」「医療安全と倫理～安全と尊厳のジレンマについて考えてみよう」「医療安全管理者養成研修」の4つの研修を企画しました。委員会が大切にしたいことは、研修で得た学びを職場へ持ち帰り、自部署で共有し、日々の実践につなげていただくことです。一人ひとりの気づきや行動が、部署全体の安全文化を育み、患者さんと職員双方の安全につながります。一緒に学び、現場で実践できる医療安全活動を広げていきましょう。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。



特定行為研修修了者及び 認定看護師等活動推進事業

研修案内

これからのキャリアを考える

—特定看護師・認定看護師の話を聞いてみよう—

日 時

令和8年12月22日（火）13:00-16:00

会 場

栃木県看護協会研修センター

対 象

保健師・助産師・看護師/60名

内 容

特定行為研修修了者・認定看護師等の活動の実際/専門職業人としてのキャリアについて

参加者の声

興味深い話が多く、とても有意義な時間になりました。

実際に活動している方の生の声を聴くことができ、参考になりました。



特定行為研修修了者・認定看護師等のための情報交換会

日 時

令和9年1月8日（金）13:00-16:00

会 場

栃木県看護協会研修センター

対 象

特定行為研修修了者・認定看護師等/30名

内 容

特定看護師・認定看護師等の活動状況の報告、意見交換、情報共有

参加者の声

A課程の認定なので、特定の人たちに話が聞けて良かったです。

他施設との情報交換はとても勉強になった。



栃木県看護協会 訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所

とちぎ訪問看護ステーションみぶ



令和8年4月より、
「とちぎ訪問看護ステーションみぶ」と
「とちぎ訪問看護ステーションたかねざわ」
を統廃合し、営業地域を拡大しました。

それぞれの事業所が築き上げてきた力を
最大限に発揮できるよう尽力していきます。

栃木県看護協会ケアプランセンター

令和8年7月より、居宅支援事業所うつのみや
みぶ・たかねざわの3事業所が統合し、
本拠地は居宅支援事業所みぶの場所で
「栃木県看護協会ケアプランセンター」と
なりました。

今までの支援はそのままに・・・
広域に支援ができるように・・・
たくさんの支援ができるように頑張ります。



新しい体制で再スタートしました。
公益社団法人の目的を達成するとともに
職能団体の強みを活かし、これまで以上に
地域の看護・介護を支えて参ります。

これからもよろしくお願いいたします。

【栃木県看護協会 在宅チーム】





ナースセンター通信

就職
相談会

おしごと応援フェア

雇用保険の求職活動実績になります

おしごと 応援フェア

入場無料！

服装自由♪

入退場自由

履歴書不要

県内の病院・施設・診療所などが参加します。

看護学生・看護職・看護補助者に興味がある方、全世代の方参加いただけます。

個別相談：実際に勤務している担当者に直接相談できます

相談ブース：ハローワーク・キャリアコンサルタント・ナースセンターブースがあります

講座：履歴書や職務経歴書の書き方、面接の注意点などの講座に参加できます

2026年

日時

9月12日(土)
13:30-15:30

会場

西那須野公民館
(那須塩原市太夫塚1丁目194番地78)



お問い合わせ先

☎ 028-625-6141

(平日 9:00~17:00)

公益社団法人栃木県看護協会

詳細はQRコードから



同日開催♪看護職員再就業支援研修 採血(演習)あり

栃木県ナースセンター事業は栃木県委託事業です



看護職のためのポータルサイト

ナップス
NuPS

日本看護協会

看護職として自分らしいキャリアを描く…
そんなあなたのために

看護職のためのポータルサイト **NuPS** はじまります!

同じ職場で長く働く

自分の強みやライフイベントなどに合わせて働く場所を変える

休職や復職をしながらキャリアを継続する…

看護職には一人ひとりのキャリアがあります

看護職として経験したことや学んだことの積み重ねが

生涯にわたる財産となります

NuPS は、あなた専用のポータルサイト積み重ねてきた **キャリア** や **学び** を蓄積して見える化します

共に最良のキャリアを築きましょう



◀ 詳細は
こちら

ナースセンター事業日程

- 8/1(土) 研修：看護のシゴト入門編/トークカフェ
- 8/5(水) 看護補助者のお仕事説明会
(ハローワーク小山)
- 8/7(金) 研修：採血と点滴
- 8/19(水) 研修：私らしい働き方デザイン・褥瘡予防
巡回相談：ハローワーク宇都宮
看護補助者のお仕事説明会
(ハローワーク大田原)
- 8/26(水) 巡回相談：ハローワーク黒磯



9月以降の事業日程は
ホームページをご覧ください。

ナースセンターより

とちぎ健康の森4階にあるナースセンターでは看護職相談員が常駐しています!

「求人・求職のご案内」や「相談(就職・転職・進学・お悩み)」などを予約なし・無料でお受けできます。

お気軽にお越しください♪
お電話でもお受けしております!



ナースセンター入口にある
「かんごちゃん」が目印♪



表彰おめでとうございます

2026年度日本看護協会長表彰受賞者（栃木県）

成田 伸さん 藤井 洋子さん

かんごちゃん
会員特典使ってみた！

(撮影協力：日光きぬ川 スパホテル 三日月)

他にも会員特典いろいろ
会員特典

特典一覧はこちらから

かんごちゃん
会員特典使ってみた！詳細は
Instagramから
ご覧いただけます。

TOCHIGI_NURSING_ASSOCIATION

日本看護協会の新しい福利厚生制度
「3大疾病保障制度」がスタートします

割安な掛金で、3大疾病（がん・急性心筋梗塞・脳卒中）をカバーできます（引受保険会社：日本生命保険相互会社）

（募集期間：2026年10月1日～2027年1月29日 効力発生日：2027年4月1日）

今なら！

連絡先を登録くださった方に
セブンイレブンもしくはローソンでご利用いただける
デジタルクーポンをもれなくプレゼント！

（実施期間：2026年9月30日（水）まで）

10月まで毎月1回お役立ち情報を発信！

- ★登録時：デジタルクーポン配信
- ★7・8月：がんに関する情報発信
- ★9月：デジタルクーポン配信（2回目）
- ★10月：「3大疾病保障制度」募集期間開始のご案内

《デジタルクーポン商品例》



※画像はイメージです。

登録は
コチラ

※当キャンペーンは日本生命が独自に行うものです。※予告なく商品や価格が変更になる場合がございます。※コンビニ店舗へのお問合せはできません。※商品ごとに交換可能なブランド（店舗）が決まっております。
 ※本広告では商品の引換えはできません。※ギフトURLのお届けに際し、お名前・ご連絡先をお聞かせしております。※ギフトURLの記載されたメールは、申込情報入力後1週間を目途にご登録いただいたアドレスへ配信されます。（携帯電話アドレス推奨）@nissay.co.jp のアドレスから届きます。設定によっては迷惑メールに振り分けられてしまう可能性がありますのでご注意ください。

編集
後記

看護とちぎの「大関 和」特集が終了します。看護師歴何年でも涙しながら「看護って何？」と改めて自分に問いかけるきっかけとなりました。変わらぬ患者への思いを大切に、医療DX、SNSやAI使用などで看護情報をブラッシュアップしていきたいとします。また、「看護とちぎ」は、看護協会のホームページからも見ることができます。ぜひ、ご活用ください。 広報委員h

発行 令和8年7月 第127号
 公益社団法人栃木県看護協会
 宇都宮市駒生町3337の1 とちぎ健康の森4階 TEL 028-625-6141
 発行責任者 小松富恵 Web アドレス <https://www.t-kango.or.jp>
 印刷所 株式会社ピ・テ・オ印刷 TEL 028-662-2511